

■米国：テキサス州、輪番停電を実施

米テキサス州では 2011 年 2 月 1 日深夜から、同地域を襲ったアイスストームにより合計 700 万 kW（50 基）の発電設備が解列した。2 日早朝から同州の送電系統を運用しているテキサス電力信頼度協議会（ERCOT）は、合計 400 万 kW 相当の輪番停電を実施するよう指令した。テキサス州の冬季利用可能発電設備容量は 7,600 万 kW であり、数字上は 700 万 kW 程度の解列が発生しても対応は可能である。しかし、1,200 万 kW 以上の発電設備が保守点検のため停止していたこと、暖房のガス需要が急増しバックアップを担うガス火力へ十分な燃料供給が行われなかったこと、さらに水圧管やバルブなど屋外設備に低温のためトラブルが発生するなど複数の事象が重なり、輪番停電を余儀なくされたと観測されている。このため ERCOT は、管内の発電事業者に対し、利用可能なすべての供給設備を立ち上げるよう指令を出した。なお、バランス市場における取引価格（ドル/MWh）は、この時期通常 100 ドル程度のところ、3,000 ドルまで高騰したと見られる。